

事業者部門会議の概要

1. テーマ 病院・介護福祉施設の省エネ対策（第3回）

2. 目的

- ・「長期エネルギー需給見通し」の“徹底した省エネ”との記載を踏まえ、電気・熱ともに需要が大きいものの、省エネ取組が不十分なケースが多いと想定される病院・介護分野の皆様に対し、来年度拡充される国の補助制度活用や **BEMS** を中心としたエネルギーマネジメントの導入効果等について情報提供するとともに、省エネ取組にあたっての課題共有し、効果的な啓発方法・マッチング支援策等を検討する。

3. 会議の開催

(1) 日時：平成28年3月15日(火) 10時～12時

(2) 場所：大阪府咲洲庁舎23階 中会議室

(3) 出席者：(株)コム・トレード、日本テクノ(株)、キヤノンマーケティングジャパン(株)、大手前病院（(一社)大阪府病院協会 推薦）、社会医療法人弘道会（(一社)大阪府私立病院協会 推薦）、豊年福祉会天の川明星（大阪府社会福祉協議会 推薦）、(公社)大阪介護老人保健施設協会、(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所
オブザーバー：近畿経済産業局、関西電力(株)、大阪ガス(株)

(4) 概要

- ・大阪府より、病院・介護福祉施設における省エネの実施状況や現場の認識等について把握するためのアンケート調査の実施状況（最終集計）について報告し、普及啓発・マッチングの取り組みの方向性について意見交換した。
- ・国及び府の支援制度の状況について、平成28年度当初予算事業を中心に情報提供した。また、国および大阪府立環境農林水産総合研究所が各々作成している、省エネに関する取り組み事例集について紹介した。

(5) 会議での主な意見

- ・チラシ等に関する啓発について、コスト削減よりも省エネをメインに出しているケースがあるが、事業者、経営者としてはもちろん省エネも大事だが、まず削減の意識。最初にコスト削減に興味があつて、結果的に省エネにつながればよいということ。「削減につながる」と強く伝わるような見出しにした方がよいのでは。
- ・病院や介護の施設というのは、感覚でいうと、普通の一般的な中小企業よりもガス

の比率が結構高い。パンフレットの中で取り扱われている事例というのが、いずれも電気の削減だけになっており、これが本当に適切かどうか。ガスの比率が高いところは、やはりトータルで見ないと、電気だけでは効果は見れないのでは。

⇒エネルギーマネジメントとなると、やはり電気に特化した業者が多いため、そのような扱い方になっている。ただし、エネルギーマネジメントシステムの導入も省エネ対策の一つのツールという位置づけになると思うので、何が何でもこれが入ればすべてうまくいくというような言い方にはならないように注意が必要。

以 上